

## モンブラン

メンバー：高木 A・Y (記)

当初はスイスでのんびりハイキングでも、と思っていたのだがシャモニ在住の元会員岡村さんに連絡を取りやり取りをしているうちに私が勝手に盛り上がり、モンブランに登ろう！という事になった。

あまりトレーニングをする時間がなかったのだが、磯部さんにアドバイスを頂き 2人共全く興味のない富士山にもとりあえず雪のあるうちに登っておいた。

あまり高い山に行っていない A も高度障害もなかったので一安心であった。(Y は 4000m の経験あり)

6/20 セントレア発→ドイツ：フランクフルト経由→スイス：チューリッヒ着

当初シャモニに行く予定ではなかったので航空券はチューリッヒ発着で取っていた。シャモニに行くならジュネーヴ空港が近い。

6/21 チューリッヒ→フランス：シャモニ

移動で 1 日終わるが列車に乗って景色を眺めているだけでも楽しい。



シャモニは快晴。山がきれいだ！

銅像（モンブランに初登頂した人達だそう）が指差しているのが目指すモンブランだ。

#### 6/22 高度順応トレーニング（バレーブランシュ氷河）

朝起きると山が雲に隠れている・・・しかも真っ黒な雲だ・・・

ロープウェイ駅でガイドのジジと初対面。これから4日間お世話になるイタリア人ガイドだ。

ガイドは英語が話せない人も多いと聞くが、ジジは英語が堪能で助かった。

ロープウェイでエギュー・ドウ・ミディ駅（3842m）に移動する。本来ならゴンドラでこの先のエルブロンネル駅まで行き、ミディまで歩いて戻るという行程だった。

しかし天候が悪くエンブロンネル駅には行けないのでミディから歩き出し氷河を歩きある程度の所まで下り、また登り返してくるという行程に変更であった。

出発からジジとアンザイレン。初っぱな切り立った（というブログ記事を事前に読んだのだが実際はホワイトアウトで切り立っていたのかわからなかったのだが）下りをA先頭で出発。

A曰く、とにかくこの下りが怖かったらしい。私は前が見えず怖いのかもわからず。



高度障害もなかったしもっと歩きたかったのだが、ロープウェイが止まってしまうと困るので早々に終了する。

時間もあるのでロープウェイで途中下車しハイキングすることに。

ジジも付き合ってくれて（通常ガイドはこんなオプションのような事はしてくれない。なんていい人なんだ！）のんびりハイキングーと思ったら、雪渓歩きやらトラバースやらみっちり2時間休みなく歩き、トレーニングの続きだったようだ（笑）

ここでAはマーモットを見たらしい。私がずっと見たいと言っていたのに・・・

#### 6/23 モンブラン目指して出発

余裕を持って予備日を含めて2泊3日の行程である。1泊2日で登る人も多いのだがとにかく

天候が不安定なモンブランは登頂率が低いので1日余裕をもった日程にした。

ホテルにジジが迎えに来てくれて車でロープウェイ駅に移動する。

日本人は荷物が多いのでガイドからのチェックが入ると聞いていたがノーチェックだった。ジジは放任主義のようだ。

ロープウェイでベルビュー駅まで登り登山電車に乗り換える。しかし乗るはずだった電車が運休になってしまいここで1時間半ほど足止め。景色がよくてのんびり待つ。



満員電車で揺られてニーテグール駅に着くとすぐに出発だ。朝から何も食べていないのだが・・・噂通りこちらでは休憩なしで歩き続けるようだ。

ガレ場を少し歩くと雪が出てくるが、締まっていて歩きやすいのでノーアイゼンで。

この日は雨が降ったり止んだりだった。

2時間半程度でテートルース小屋に到着。

小屋はキレイでご飯も美味しい。スープ、メイン、デザートとコースで料理が出てくるのはさすがフランス！

Aは初めての山小屋泊で、それがモンブランとは何だかカッコいい気がする（笑）

夕方からどんどん天候が悪くなり、雷鳴が響き外はピカピカと落雷が光っていて明日の山頂アタックは無理だという事になる。



6/24 大クーロワールを経て新グーテ小屋まで  
朝も天候が悪い。みんな出発せず、朝のラジオ天気予報を待つ。



天気予報に聞き入るガイド達。表情で今日もダメだと分かる。

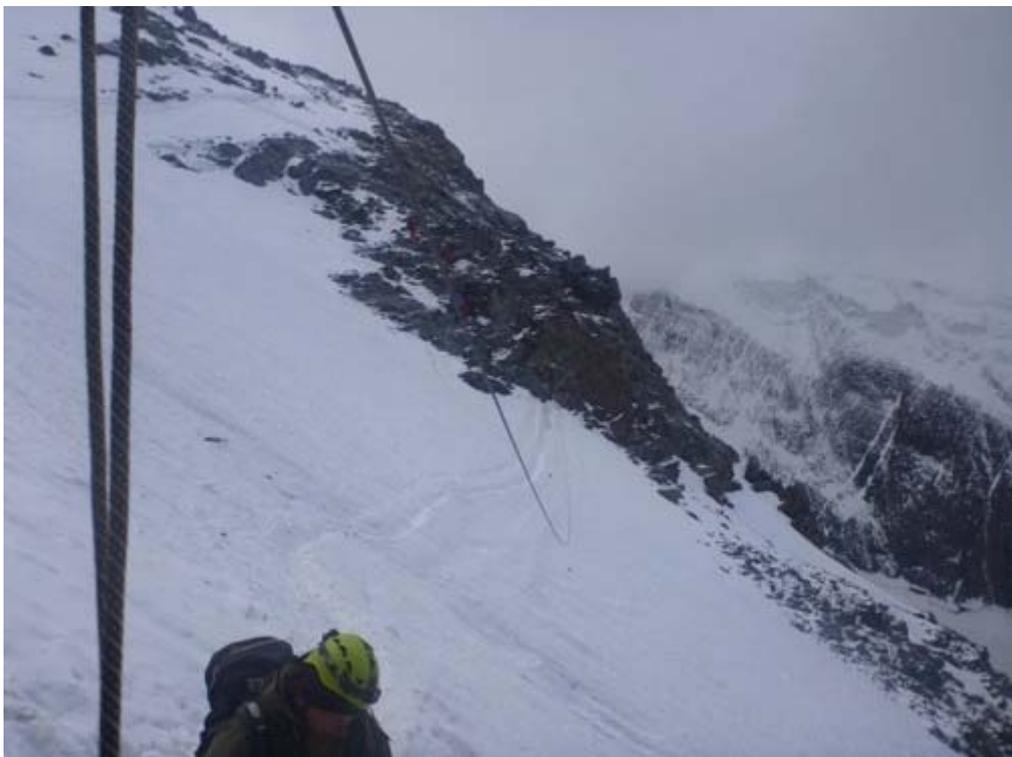
今日は行けてグーテ小屋まで。明日も天候が回復する可能性は低く下山のみになる可能性も高い。それでも一番危険だと言われているクーロワールを通過してまで登るのか？実際、下山して行く人も多い。

Aは「どうせ明日も行けないなら今日下山しよう」と言う。ジジは「明日になってみないと分からない。アタックできる可能性もある」と言う。

私は少しの可能性でもあるなら行きたい。せっかくだから新グーテ小屋も見たい。

・・・という私の我がままにAが付き合う形で登る事になった。ありがとう。

テートルース小屋からはピッケル、アイゼン、ヘルメット、アンザイレン。



毎年事故多発で死亡事故も起こる、大クーロワール。

まだ雪が締まっている時期だからか、落石もなく問題なく通過できた。

でもガイドはナーバスになる場所のようで、止まらず一気に早足で通り抜けるように指示があった。今日の山場は終わった・・・と思っていたらここからが大変だった。

ずっと岩場なのだ。しかも凍っているし。

セルフビレイしながら登っているパーティーが多く、時間がかかるのでその脇をジジがすいすい追い越して行く。アンザイレンしているので必死で着いて行く。待ってー！！と言っても笑顔でどんどん登って行くガイド。勘弁してくれ。

アイゼン付けたまま2時間ずっと休みなく岩場を登り続け腕もパンパンになったころようやく旧グーテ小屋に到着する。あー、疲れた。



旧グーテ小屋から新グーテ小屋まではすぐ。新グーテはまだ出来たばかりで要塞のようだった。3835mにこんなものを作ってしまうとは、すごいなあ。

中也キレイで気密性も高いのか暑いくらいだった。暑いのは分かるが屈強なムキムキ欧米人がパンツ一枚でウロウロするのは止めて欲しかった・・・目のやり場に困る！

ご飯は噂通りテートルースの方が美味しかった。(でも日本に比べると充分美味しい！)

明日の朝の天候でモンブランアタックできるか決まる。とにかく時間が有り余っているので(この日の行動時間は2時間半・・・)寝て過ごす。





#### 6/25 アタックと下山

2時朝食。その時点で風はあるものとりあえずアタックは可能ということで（上部は強風の可能性が高く撤退する前提ではあるが・・・）準備をする。

3時ヘッドランプを付けて出発。風もなく星も出ている。麓の明かりも見える。

・・・が、30分程で風が出てきてガスで何も見えなくなる。先に行くパーティーの明かりも見えなくなる。

行ける所まで、ということで2時間行動するもこれ以上は無理だというジジの判断でドームデグーテ（4304m）で撤退が決定する。高度障害もないしコースタイム通りに来ているので残念だったが仕方がない。ヨーロッパアルプスの女王のご機嫌は悪かったようだ。

2時間かかった所を写真を撮りながら40分程でグーテ小屋まで下山。麓の天候が崩れる可能性もあるのでさっさと下山する。ここでも休憩はまったくなし。声をかければ水飲み休憩はもらえるが、ガイドから休憩しようと言われることは殆どないのでこちらから言わなければいけない。（ジジは気にしてくれる方だったと思うが）



下山を始めると謎の吐き気が出てきた。当初は高度障害かと思っていたが、どんどん悪化する。

歩く速度も遅くなり嘔吐しながらもヨロヨロ歩く。

問題の岩場は昨夜の積雪でアイスミックスになっており最悪だ。

慎重に歩き、山場を越えたあたりをトラバースしていると先頭を歩いていた A の頭に大きな落石が！音もなく落ちてきて驚いた。すぐに小さな落石が A のピッケルと私の頭に当たった。上を見ると大人数パーティーが岩場を下山してきている。ジジが大声で何か怒鳴ってくれた。英語でないので何を言ったかわからないけど上から返事もあってその後は落石もなくなった。

A は打ち所がよかったようで何事もなく（後からタンコブと擦り傷はできていたが）一安心したら、何故か私がおその場でリバース！みんなビックリ。私もビックリ。

でも立ち止まっていると危ないのですぐに下山再開。大クーロワールの落石も行きより慎重になりながら通過。

テートルース小屋から下はシリセードしながら一気に下る・・・はずが何度もリバースしながらヨロヨロ歩く私に合わせてもらって登りと同じくらい時間がかかってようやく駅まで下山した。電車の中でもビニール袋片手に嘔吐しながらボロボロで終わったモンブラン挑戦だった。



ガイド付き登山は初めてだったけどチャーミングで素敵なガイドでした。また挑戦する時があればまたガイドはジジがいいな、と思うほど。

元会員の岡村さんにも何度もお電話頂いたり会いにきてくださったりととても心強かったです。本当にありがとうございました。

#### 6/26~7/1 観光と帰国

下山翌日にはスイスに向けて移動。この日は皮肉なことに快晴！

ツェルマットでマータホルンを見て、グリンデルワルトでアイガー・メンヒ・ユングフラウのベルナーオーバーランド三山を眺めながらのんびりお花見ハイキングをしてベルンを観光して大満足のスイス旅だった。

